



平成27年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマノホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 山野 義友
(コード番号 7571)
問い合わせ先 取締役専務執行役員
管理本部長 金木 俊明
電 話 番 号 0 3 - 3 3 7 6 - 7 8 7 8

当社連結子会社(堀田丸正株式会社)の平成28年3月期第2四半期累計期間の
業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である堀田丸正株式会社において、最近の業績の動向等を踏まえ、同社が平成27年5月15日に公表しました平成28年3月期第2四半期累計期間の連結及び個別業績予想と、本日公表の実績において差異が生じたのでお知らせします。また、併せて平成27年5月15日に公表した平成28年3月期通期の連結及び個別業績予想を、別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

以上

別添資料として、当該子会社の開示資料を添付いたしております。



平成27年11月13日

各位

上場会社名 堀田丸正株式会社
 代表者 代表取締役社長 井澤 一守
 (コード番号 8105)
 問合せ先責任者 取締役執行役員管理本部長 矢部 和秀
 (TEL 03-3548-8139)

第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年5月15日に公表した平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成28年3月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,325	△33	△31	△40	△0.87
今回修正予想(B)	3,242	△71	△71	△79	△1.74
増減額(B-A)	△83	△38	△40	△39	
増減率(%)	△2.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	3,253	△89	△76	138	3.02

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,195	48	52	30	0.65
今回修正予想(B)	7,519	37	39	16	0.35
増減額(B-A)	324	△11	△13	△14	
増減率(%)	4.5	△22.9	△25.0	△46.7	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	6,915	△192	△166	7	0.17

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,029	△33	△42	△0.91
今回修正予想(B)	2,798	△87	△92	△2.00
増減額(B-A)	△231	△54	△50	
増減率(%)	△7.6	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	2,113	△53	207	4.53

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,569	44	26	0.56
今回修正予想(B)	6,100	9	0	0.00
増減額(B-A)	△469	△35	△26	
増減率(%)	△7.1	△79.5	△100.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	5,473	△158	△56	△1.23

修正の理由

〈第2四半期予想値と実績値の差異理由〉

(連結)

新規のM&Aによる売上寄与はあったものの、個別での和装事業及び洋装事業の売上減少が大きく影響し、売上総利益は減少いたしました。営業利益、経常利益及び親会社に帰属する四半期純利益も減少しております。

(個別)

和装事業及び洋装事業での売上減少が大きく影響し、売上総利益、営業利益、経常利益、当期利益が減少しております。

〈通期業績予想の修正理由〉

(連結)

売上高は、新規M&Aにより従来の予想よりも増加いたしますが、営業利益及び経常利益については第2半期累計期間の差異分を回復するには至らず、また、親会社に帰属する当期純利益は税金等の増加が見込まれるため修正いたします。

(個別)

売上高は引き続き厳しい環境にあり、和装事業及び洋装事業での売上の減少が見込まれ従来予想よりも下回る見込みです。経常利益においては、第2四半期累計期間の減少分を経費等の削減を図りますが、従来予想よりも下回る見込みのため修正いたします。

以 上